

慶應義塾大学大学院  
2019年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

以下の設問すべてに答えなさい。ただし、設問1と設問2は別の解答用紙を使うこと。解答は指定のない限りすべて日本語の文章で書くこと。所定の行数を超える答案は採点しない。

設問1. つぎの問のすべてに簡潔に答えなさい。固有名詞は英語のままよい。

問1 ①The Cheese Shopとはなにを扱っているところか。

問2 Pythonが人気や注目を浴びている証拠として著者が3段落目までに記した事実をあげなさい(最大5つ)。

問3 ②Python開発者 van Rossumのとした行動とその理由を述べなさい。

問4 この記事に記されているPython利用の実例をあげなさい(最大5つ)。

問5 Pythonの利用が簡単であることによる危険性とその回避策は、この記事ではどのように書かれているか。

問6 米国の小学校のコンピュータ言語教育の現状とそうなった原因を簡単に記しなさい。

問7 “one with Nineveh and Tyre”に近い状況のコンピュータ言語として著者は何をあげているか。

(出典: “And now for something completely different: Python, a simple and versatile computing language, has brought coding to a vast new audience”. *The Economist*, July 21st 2018.)

慶應義塾大学大学院  
2019年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

設問2 下の記事を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 下線部①に関連して、著者は、紳士服と婦人服はそれぞれ何の象徴 (symbol) だと指摘しているか。また、それぞれがそのような象徴として機能しているのは、男性と女性がそれぞれどのような社会集団だと見なされているからだということを、著者は示唆しているか。(1) 紳士服および男性と、(2) 婦人服と女性に分けて、それぞれ2行以内で論じなさい。

問2 下線部②の一文を、文意が通じ、かつ、文法的に正しい日本語に、翻訳しなさい。

問3 下線部③の「差異化 (differentiation)」とは、本論の文脈において、何を行うことを通じて「働く女性」が誰に対して目論む差異化のことか、3行以内で解説しなさい。

問4 下線部④の「模倣 (imitation)」とは、本論の文脈において、何を行うことを通じて「働く女性」が誰に対して目論む模倣のことか、3行以内で解説しなさい。